

福祉サービス第三者評価結果

①第三者評価機関名

株式会社 地域計画連合

②事業者情報

名称：	アートチャイルドケアわらび	種別：	保育所
代表者氏名：	大和田 眞理	定員(利用人数)：	105 名
所在地：	〒 353-0007 埼玉県蕨市錦町1-17-24	TEL	048-434-6123

③総評

◇特に評価の高い点

○子どもが保護者と一緒に食に関心をもつことができる工夫がされている
 保育園の玄関ホールには給食のサンプルが展示され、栄養士が作るメニューなど紹介するお手紙が掲示されており、食材の産地表示と共に子どもたちが給食で食べたものを見ることができるようになっている。三大栄養素の食品群に分けて食材が体にどんな働きかけがあるのかを展示したり、食材を入れた箱に穴をあけ中に手を入れて食材を当てるクイズを親子で楽しむことができたり、給食で使ったかぶや大根の根元を水につけてどんな芽が出てくるのかを観察できるなど、様々な方法で食に興味を持てるように工夫している。

○子どもたちの安心・安全に向けて、様々な取り組みを進め、職員の意識向上に活かしている
 子どもたちの安心・安全を最優先して、小児救急法講習の受講、看護師によるAED講習の職員全員の受講、毎月の避難訓練、不審者対応訓練などを行い、いざという時に備えている。また、事務室内に園舎の配置図を掲示し、職員が遭遇したヒヤリハットを付箋紙で印を付け、その内容をメモすることで職員間でのヒヤリハットへの気づきを促して園舎内のリスク管理に活かしている。さらに本社では各園でのヒヤリハット報告を集計整理し、園長会で報告して各園での取り組みにつなげている。

○保護者意見等に対する対応を丁寧に行い、良いと思ったことはできるところから直ぐに対応している
 保護者から寄せられたご意見・ご要望に対しては、昼礼や職員会議などで職員間で共有し検討・協議を行い、できるものは迅速に対応するように努めている。アンケート調査結果や意見箱に寄せられた内容への回答を取りまとめ、園入り口に掲示して保護者に向けて周知しており、運営委員会の際に説明も行っている。職員間での情報共有に関する取り組みとして電話受取ノートを使って伝え忘れがないようにしたり、ヒヤリマップを導入するなど、良いと思ったことを園の判断できるところから直ぐに取り入れて実行している。今後はおもちゃの充実を図りたいという希望もあり、期待が持てる。

◇特にコメントを要する点

○園庭の環境と保育室内のおもちゃ環境などのさらなる工夫や検討を期待したい
 園庭が2ヶ所あり、1ヶ所は夏場になるとプールが設置されることになっている。園庭は子どもたちがのびのびと身体を動かせるようにとの考えから固定遊具を極力置かず、遊具を利用する場合には近隣の公園を利用するよう工夫している。夏場にプールが設置される園庭は乳児室の前にありプールがない時の遊びの場として有効に活用する方法や、小さな木を植えたり草花の栽培をするなど、季節の移り変わりを感ぜられる工夫をすることで、子どもたちの情操を豊かに育む環境への配慮なども期待したい。また、保育室にはままごと道具やブロック、ぬいぐるみなどが棚や部屋の一角に置かれ、子どもたちが遊ぶことができるようになっており、保育者が必要とした時に押入れからおもちゃを出して提供するなどの環境になっている。2歳児の保育室はコーナーの設定などで子どもたちが遊びたいと思うような工夫があるが、さらに子どもたちが主体的に物とかかわって遊べる、年齢に配慮したおもちゃの種類や数、継続的に遊び込める常設のコーナーの設置を検討するなど、保育室環境の工夫にも期待したい。

○保育園の抱える課題や保育活動の方向性を考慮し、将来像を見据えた中期計画の策定を検討されたい
 園長の指導力・統率力などが発揮され組織体制が整備されつつあり、本社担当との連携を活かした取り組みが進められている。職員のコミュニケーション及びまとまりもよく、保護者からの大きな苦情等も無く保育活動が行われている。今後は、職員間の一体感を活かして園の将来像を見据えた3年程度の中期計画の策定を検討されたい。本社の5カ年の経営方針を受けて、全職員での協議を行い、園が抱える課題やより具体的な保育活動の進め方などを考慮して、おもちゃの整備や提供の仕方、園からの保育に関する情報の見せ方、リーダー層の育成や施設の改修計画など、具体的な取り組み・達成目標を盛り込んだものを期待したい。職員各自の思いがさらなる子どもたちの楽しい保育園生活につながることを望まれる。

○保育の内容や子どもたちの様子を丁寧に伝え、読みたくなるような工夫なども望まれる
 保育活動に関する保護者への情報に提供手段等は整備されており、園だよりやクラスだより、園内への掲示などを通じて保育への取り組みが保護者に周知されている。その日の活動内容の記載への配慮、子どもたちの様子や成長などの変化をさらに丁寧に伝える工夫、園だより・クラスだよりの記事の書き方やイラストなどを用いたビジュアル的な表現など、さらに読み手が関心を持って手に取りたくなるような工夫などの検討も望まれる。

④第三者評価結果に対する事業者のコメント

第三者評価にあたり、ご協力をいただきありがとうございました。
 高評価につながった項目については、日頃からの保護者様のご協力のおかげと、心から感謝申し上げます。
 主な課題について、園庭での栽培についてはプランターですが食育をかねて野菜の苗を育てたいと考えています。また、環境という点で新年度からぺんぎん組では、お子様が落ち着いて過ごせるようロッカーで区切りコーナーを設けて興味がある遊びができるようにいたしました。他のクラスにつきましても個々に工夫していきたいと思っております。行事や日々の活動については、保護者様に分かりやすくお伝えできるよう掲示を進めていきます。
 今後とも、保護者様と一緒にお子様が楽しく安心して過ごせるよう努めてまいりますので、どうぞ宜しくお願い致します。

⑤各評価項目にかかる第三者評価結果

別紙